

すずらん



森のおみせ

施設長 真鍋 衛

11月に入り寒さが増すとともに、恒例のカメムシが建物の壁や足下の地面にたくさん見られるようになりました。寒い季節の始まりですが、秋が終わり冬が来ないと春も来ないので、頑張りたいと思います。

さて、JA阿新のご厚意により7月6日にオープンした「森のおみせ」のオープニングセレモニーでは、岡田壽学園長、山本日吉司組合長の主催者挨拶に続き、石垣正夫新見市長、竹田人士県障害福祉課長、山田寛人特別支援教育課長からの来賓祝辞がありました。最後に園生代表で施設利用者の西江佑太郎君がお礼の挨拶を行い、その後のテープカットでは、主催者挨拶の2人と来賓祝辞の3人の他に、支援学校高等部3年の松浦雄斗君が加わった6人で、ファンファーレとともにテープにハサミをいれました。

アンテナショップの立ち上げについては、以前より学園の中で話を進めていきましたが、今回はその話を聞いたJA阿新から、社会福祉施設と連携することにより、地域に対して社会貢献を行いたいという申し出により、急展開で実現することになりました。

オープンしてから4ヶ月を迎えますが、これらも一般市場に見劣りしない高品質と低価格により、地域の方に喜んで買っていただけの商品の提供を行うとともに、接客マナーを通して挨拶や言葉遣いなど、日頃の支援の実践の場として定着してほしいと思います。さらに、学園情報の発信や地域の方への啓発と交流の場となり、JA阿新と健康の森学園の双方に大きな収穫をもたらす「森のおみせ」であってほしいと願っています。

新入所生歓迎会

4月14日、友だちの会（自治会）が中心となり、新入所生歓迎会が行われました。今年度は男性3名、女性2名、計5名の利用者が新しく仲間入りしました。まず、自己紹介して、みんなで会食しダンス、ものまね、けん玉などを披露して新入所生との交流を深めました。



熊本義援金

平成28年4月14日、熊本県益城町を中心に最大震度7の地震により大きな被害ができました。岡山県健康の森学園では、この被災された方々を支援するため、支援金の受付を行いました。そして、6月8日その熊本地震の被害者支援金を公設国際貢献献金に依託しました。支援金は、学園内に募金箱を設置し園生の保護者、職員、来園者が協力した募金と学園内で栽培した野菜や花の苗、卵の売上金の一部をあてました。当日は利用

者の太田井樹さんが代表して公設貢献大学の鈴木施設長に手渡しました。



全国椎茸品評会で2位入賞

平成28年全国農産物品評会が6月15日埼玉県久喜市で行われ全国から選りすぐられた364箱から「大葉肉厚の部」で全国2位となる林野庁長官賞を受賞しました。



今年は大変苦勞しましたが、利用者の方と丁寧な作業を心がけて育てました。この度の表彰を励みにとして良質な椎茸を作り、全国1位を目指していこうと気持ちを新たにしました。

野点

6月18日新翠会による茶会が開かれました。毎年の恒例となるこの行事は新翠会の竹迫先生をはじめ8名の先生方に来て頂いて、利用者のお茶の手に



ほどきをしてくださいました。普段ではなかなか味わうことが出来ないお茶本来の旨みと香りを、みなさん楽しんでいました。

健康アンテナショップ

7月6日JA阿新様のご協力を頂き、新見市高尾のAコープあしん店付設の休憩所内に健康の森学園のアンテナショップ「森のおみせ」をオープンしました。施設利



用者が育てた農産物や中学部、高等部生徒が作業学習で作った製品等を学園生自らがお客様に対応しながら販売しています。また、地域の皆様との交流の場としても活用出来たらと思っています。ぜひ、ご来店ください。

営業日 水曜日 10時～16時
金曜日 10時～13時

安全研修会

7月27日「農作業中における事故防止について」の研修会を行いました。当日は講師として岡山県労働基準協会 藤井栄治先生を招き、作業中の事故防止について話をさせて頂きました。藤井先生より「決められたルールを守って作業をする」「機械を使うのであればきちんと講習を受けること」「安全対策の不備や不具合」など日々農作業に従事するにあたりとても大事なお話をしていただきました。安全管理体制の再確認を施設としてもおこない、労働災害の起きることのない職場を確立していきたくと思います。



学習(情報・広報委員会)

9月28日に備北民報取締役顧問の逸見比登志さんに、おこしいただき勉強会を行いました。今年「情報の正しい伝え方」を中心に、新聞作りのやりがいや難しさなどをご自身の体験をもとにわかりやすく教えていただきました。

た。この勉強会を通して、生活訓練や日中作業においても利用者の皆さんと一緒に、報告や連絡といった伝えることに役立っていることだと思います。

運動会

晴天の下、9月19日に第26回健康の森学園運動会が開催されました。施設は、保護者と共に綱引きを行ったり、施設利用者によるリレー競技、大玉送りの



競技に取り組みました。紅白対抗による応援合戦では、施設利用者を中心に団長を中心に振り付けを考え、明るく楽しく元気に踊りました。



農協祭

10月15日 J A 阿新主催の農協祭がAコープあしん駐車場付近で行われ、健康の森学園のアンテナショップ「森



のおみせ」も農産物や中学部、高等部生徒が作業学習で作った製品等を販売しました。また、15日には施設利用者、施設職員でぜんざい、焼き餅を販売し、16日には学校生徒、学校職員でコーヒーを販売しました。多くの方にご購入頂き販売することができました。

就労面接会



10月14日新見市・ハローワーク新見主催の「新見地区障害者就職面接会」に就労移行事業所の皆さんが参加して各事業所の方と面接をしました。

当日は9社の事業所が来ておられ、それぞれの人事担当の方が就職を希望している本人と事業所の概要や実習希望等の話をしていました。就労移行事業所の皆さんも雇用に向けてしっかりとアピールしていました。

収穫祭

10月29日「収穫祭と作品展」が秋晴れのもと、大勢の方をお迎えして盛大に開催されました。高等部の和太鼓の演奏を皮切りに各班が日頃心を込めて育て



た大根や卵、生椎茸等が販売され、来客者の方に喜んで頂きました。午後からは、運動機能訓練棟で新見第一中学校吹奏楽部による演奏が披露され利用者をはじめ、来園された地域団体や保護者の方を魅了しました。また、運営には、地元共生高校の生徒や就実短期大学の学生、けんもり応援団の方がボランティアとして活躍してくれました。

相談支援コーナー

健康の森学園相談支援事業所は、新見市から指定を受けて特定相談支援事業と障害児相談支援事業を始め、今年で3年目を迎えています。市内外より相談のご依頼を受け、これまで200名以上の障害者・児童の皆さんに対し、障害福祉サービスの利用に向けてお手伝いをさせていただきました。平成24年度から、障害福祉サービスの利用は、相談支援専門員が作成するサービス等利用計画・障害児支援利用計画にもとづいて実施されるようになりました。利用者の皆さんの状況やご家族の意向に沿いながら、利用する事業所の担当者とはもちろん、児童については保健師をはじめ幼稚園・保育所、そして学校とも協力・連携して実施しています。また、障害福祉サービスを適切に利用してもらえるよう、支援学校等の研修会で積極的に相談支援の役割をお話しさせていただきました。今後も、利用者そしてご家族の皆さんが安心してサービスの利用ができるよう取り組んでまいりますので、どうぞ遠慮なくご相談してください。



サービス向上委員会

平成27年度 苦情受け付け状況

- ◎他の利用者に対するもの……………1件
 - ・言葉遣いが悪い
- ◎職員に対するもの……………2件
 - ・職員の言葉遣い、態度が悪い
(保護者より1件含む)
- ◎相談、要望……………2件
 - ・ゲームの時間を長くしてほしい
 - ・宿泊学習の部屋割りについて
- ◎グループホームに関するもの……………1件
 - ・生活支援員の態度を直してほしい

※平成27年度6件の受付があり、それぞれに話し合っ解決したり、改善に努めています。

入所・退所された利用者

入所者

角田 優幸さん	4月(支援学校より)
藤本 幸俊さん	4月(支援学校より)
佐久間 桃花さん	4月(支援学校より)
性全 美祐さん	4月(支援学校より)
亀山 晃宏さん	4月(支援学校より)

退所者

榎本 晃治さん	(一般就労)
岡本 尚大さん	(生活介護事業所へ)

編集後記

学園ではそろそろ雪が降る季節になりました。

今年の夏はリオ五輪が開催されテレビに釘付けとなり寝不足で朝ようやく起きて仕事へ出かけて行くようでした。なんといつでもブラジルは日本の裏側で競技時間には日本は夜中であるため眠くてもついつい見入ってしまった。

そう、オリンピックもさることながらプロ野球界では広島が25年ぶりにセリーグを制しとでもうれしく思います。開幕当初は広島OBの数人が優勝を予想しただけで、殆どの野球評論家は広島が優勝するなど思っていないからです。プロ野球界では決して恵まれていた環境とは言えないチームがなぜ大差で優勝することができたのでしょうか。それには選手の頑張りももちろんですが、永きにわたり優勝を信じて勝つても負けても一生懸命応援してくれるファンの皆さんが居たからこそできたのだらうと思います。今年は敵地での試合も3塁側はカープのユニホームを着たファンが集まり真っ赤に染まっている光景を何度も観ました。こんなことはなかなかないことです。常に信じて誰かを応援し続けることはとても大事なことだとあらためて感じました。